

経営比較分析表（令和元年度決算）

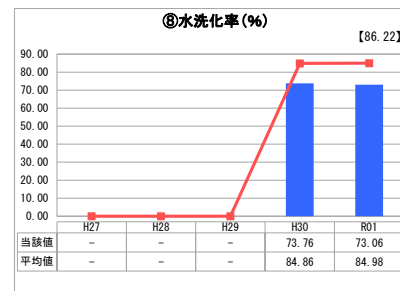
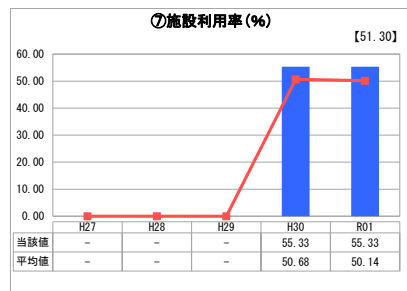
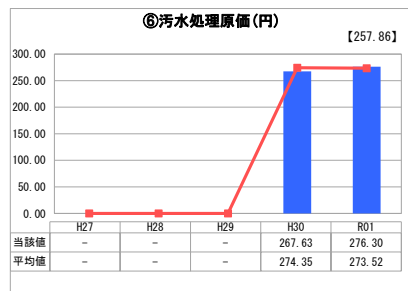
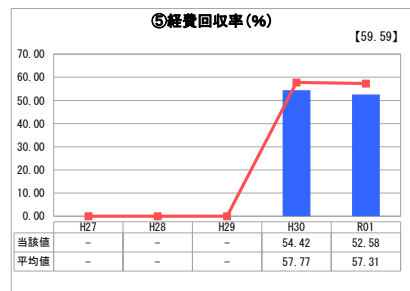
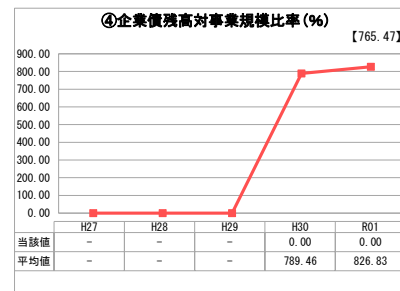
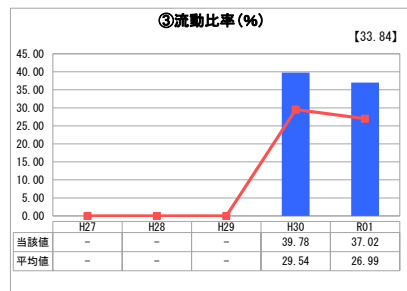
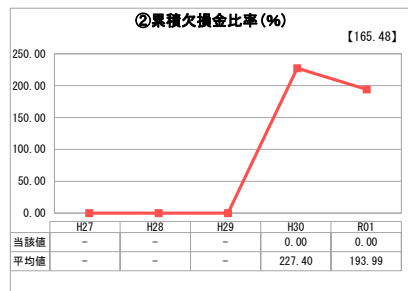
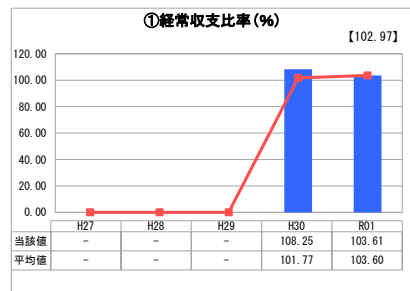
香川県 東かがわ市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	70.30	15.09	83.82	2,959

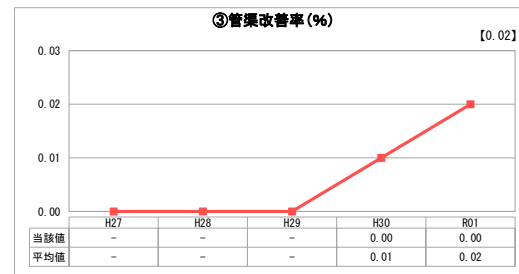
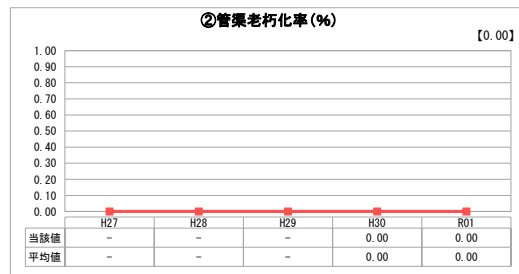
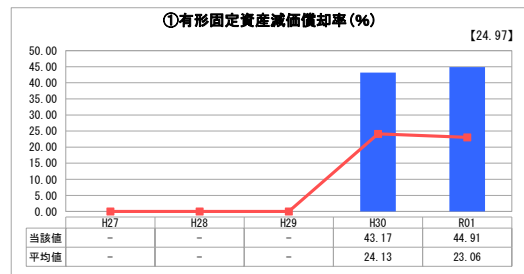
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,212	152.83	197.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,533	4.96	913.91

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は前年度と変わらず100%を超え、② 累積欠損金比率も0%であるが、いずれも一般会計繰入金によるものである。また、③ 流動比率は類似団体平均を上回る37.02%である。前年度よりやや減少している理由は未払金が増加したためである。
 ④ 企業債残高対事業規模比率0%であるが、これは企業債償還に対する資金の全部を一般会計において負担することとしているためである。
 ⑤ 経費回収率、⑥ 汚水処理原価、⑦ 施設利用率、⑧ 水洗化率のいずれの指標も前年度比横ばいである。同じく施設利用率や水洗化率が横ばいであり、受益者側に大幅な変化が見込めない状況で、経費回収率や汚水処理原価を改善させるための取り組みが必要である。現状としては他の処理場に比べて高額である白鳥処理場の動力費の契約先を入札選定しているが、使用料改定の検討も含めた更なる経営改善を図る。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水の施設は処理区によって、平成7年供用開始の施設から平成21年供用開始の施設と、減価償却率にもばらつきがある。総じて44.91%と類似団体より倍近くの数値である。管渠の老朽化への対処はまだ始まっていないが、処理施設の機器やマンホールポンプ等については適宜各機器の機能維持や交換を行っている。今後も、最速整備構想を活用して、施設の老朽化に備えた計画的な更新を図る。

全体総括

農業集落排水処理事業は、平成30年4月より公営企業会計へ移行した。
 10の処理場、処理地区があり整備年度にもばらつきがある。半数以上の地区が供用開始から20年以上経過しており、更新・維持管理費が増加していくことが見込まれる。
 今後は、令和2年度策定の経営戦略(R2-R11)に基づいて、経営方針の検討や投資・財政計画の見直しなど計画的な企業経営を進めていく。
 また、県の進める広域化・共同化計画についても積極的に参画して将来的な検討を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。